

第二次三沢市子ども読書活動推進計画

(概要版)

読書は、子どもが変化を続ける社会を生きる力を身に付けるための重要なツールです。三沢市教育委員会では、子どもの読書活動を推進するために、令和5年度から5か年の『第二次三沢市子ども読書活動推進計画』を策定しました。

(全体目標) 子どもが読書習慣を身に付けることで、将来的に向けてさまざまなメリットが期待できることから、全体目標を以下のとおり定めます。

すべての子どもが将来にわたる読書習慣を身に付けること。

(施策の方向性) 子どもが読書習慣を身に付けるためには、読書が楽しく、身近なものであるとともに、興味や関心を持って、自主的に本を読める体制づくりなどが求められるため、施策の方向性を設定しました。

読書活動が、子どもにとって身近で楽しいものであること。
それぞれの子どもが興味や関心を持ち、自主的な読書活動がなされること。
子どもの発達段階に応じて各種施策が展開されること。

(基本施策) 全体目標の達成を目指し、市立図書館、学校図書館、情報発信のそれぞれの充実を基本的な施策と定め、取り組みを進めます。

市立図書館の充実
地域の読書活動の拠点となる市立図書館の充実に努めます。

(主な取り組み)

- ①蔵書の充実
- ②情報化の推進
- ③こども室の充実
- ④ブックスタート事業の実施
- ⑤ボランティアの活用
- ⑥貸出・返却サービスの充実
- ⑦読書環境の維持

学校図書館の充実
多様な機能を有する市立学校の学校図書館の充実に努めます。

(主な取り組み)

- ①利用状況の調査・評価
- ②特色ある運用
- ③学校司書の活用
- ④蔵書の充実
- ⑤読書環境の維持
- ⑥地域性の発揮

情報発信の充実
子どもを取り巻く地域や家庭への必要な情報の発信に努めます。

(主な取り組み)

- ①子どもへの情報発信
- ②家庭への情報発信
- ③ボランティア等の募集